|  |  |
| --- | --- |
| ※ |  |

**様式１**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※　記入しないでください）

先進素材開発解析システム(Analysis and Development System for Advanced Materials: ADAM)共同利用・共同研究申請書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　 年　 月　 日

京都大学生存圏研究所長　殿

下記のとおりADAM共同利用・共同研究を実施したいので、申し込みます。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究代表者  （ふりがな）  氏名･職名 |  | | | | | 男・女 | | 年　齢  ※令和5年4月1日現在の年齢を記入下さい。  （　　　　） | |
| 所属機関名 |  | | | | | | | | |
| 郵便住所 | 〒 | | | | | | | | |
| 連絡先 | 電話 |  |  | |  | | | | |
| Eメール |  | | | | | | | | |
| 生存研の  担当者 | 氏名 |  | | 分野名 | | |  | | |
| 研究課題 |  | | | | | | | | 新規・継続の別 |
| 新規 |
| ・ |
| 継続 |
| 研究期間 | 令和５年　　月　　　日　から　令和６年２月２８日まで | | | | | | | | |
| 研究目的と意義  (400字  程度) |  | | | | | | | | |

**様式１の２**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 利用設備 | □高度マイクロ波加熱応用及び解析サブシステム  　 □超高分解能有機分析サブシステム  □高分解能多元構造解析システム | | | |
| 研究計画  （装置の利用予定期間を含めて具体的に記載すること。  例：○○装置9月5日間利用） |  | | | |
| 共同利用・共同研究で期待される成果  （継続の場合は、前年度までの成果も記入） |  | | | |
| 研究組織  (研究協力者)  ※ | 氏　名 | 男・女 | 所属機関名・職名 | 年　齢  ※令和5年4月1日現在の年齢を記入下さい。 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

※実験を主に担当する研究協力者の氏名の横には○をつけて下さい。(重複可）

**※平成２８年度公募より申請書様式を変更しております。今回の変更は、文部科学省に提出する拠点評価調書への対応を目的としております。追加項目の情報を研究所の評価に関する目的以外に使用することはございません**。

**様式１の３**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 必要経費  (見 込 額) | 旅　　費 | | 物　品　費 | |
| 事　　項 | 金額  （千円） | 事　　項 | 金額  （千円） |
| 令和５年度 |  |  |  |  |
|  | 計 |  | 計 |  |
|

* 旅費の申請は、積算根拠を明記してください

備考：

サブシステムの構成

高度マイクロ波加熱応用及び解析サブシステム

1. マイクロ波信号発生器

2. 14GHz帯650W進行波管増幅器

3. 2.45GHz帯1kWマグネトロン発振器

4. 5.8GHz帯600Wマグネトロン発振器

5. 800MHz～2.7GHz帯250W GaN半導体増幅器

6. アプリケータ

7. スペクトラムアナライザ　他

超高分解能有機分析サブシステム

1.フーリエ変換イオンサイクロトロン共鳴質量分析装置(FT-ICR-MS) （ブルカー・ダルトニクス株式会社製)

2.多核核磁気共鳴装置 λ-400 （日本電子株式会社製)

高分解能多元構造解析システム

1. 無機用電界放出形電子顕微鏡 (200kV FE-TEM) （日本電子株式会社製)

2. 有機用透過電子顕微鏡(120kV TEM) （日本電子株式会社製)

3. 比表面積/細孔分布測定装置 アサップ2020 (島津-マイクロメトリックス社製)